

“ リブ・イン・ピース 9+25 ” への改称と、会員募集、ご支援のお願い

アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局は、“ リブ・イン・ピース 9 + 25 (Live In Peace 9 + 25)” に改称・改組し、新たに出発します。

私たち署名事務局は、2001年の9・11直後に「アメリカの「報復戦争」と日本の参戦に反対する署名事務局」として発足し、「アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局」に名前を変え、7年にわたってイラク・アフガン戦争と日本の海外派兵・有事体制化に反対して闘ってきました。ブッシュの大義なき侵略戦争が泥沼化する中、日本の戦争協力・日米軍事同盟強化と一体となって小泉構造改革が進行し、日本社会が大きく変貌しました。グローバル独占資本が巨額の利益を上げ続ける一方、若者たちは使い捨ての労働を強いられ、高齢者は医療や社会保障から排除、格差や貧困が拡大し、「自己責任」のイデオロギーが蔓延し、憲法が保障する生存権そのものが広範に脅かされるという、受け入れがたい社会が生み出されたのです。もはや反戦平和運動は、飢えや貧困からの解放、生活と生存を守る闘いとますます結びつかなければならないことをひしひしと感じています。

一方で私たちは、とりわけ2007年秋以降、日本軍「慰安婦」問題の解決のための活動を強め、6月21日の「つながるコンサート」や「関西フォーラム」などに参加・協力してきました。日本軍「慰安婦」問題は最大の人権の侵害、尊厳の蹂躪であり、生存権の問題そのものです。日本の戦争責任と戦後補償を果たさせていくためにも、現在の戦争反対と戦時性暴力根絶のためにも絶対に解決しなければならない問題です。

このような関心から、会の名称をリブ・イン・ピース 9 + 25 (Live In Peace 9 + 25 リブ いんぴーすきゅうぶらすにじゅうご、略称リブインピース) と改め、平和的生存権を前面に押し出し、反戦平和の要求と生存のための要求とを結合して運動を進めていこうと考えています。

私たちは、主に関西地区を中心に、足下から運動を作り上げることを目指します。会員の創意を大事にしながら、新しい運動を模索していきます。当面私たちは、「慰安婦」問題の解決を求める運動に集中して取り組みます。さらに戦争と貧困の問題、ワーキングプアと格差社会の問題などに取り組みを広げていきたいと思えます。

リブ・イン・ピース 9 + 25 は、下記の10月5日(日)の講演集会で正式に発足の提案を行います。一緒に活動をしてくださる会員と支援して下さる賛同会員を広く募集します。

会員は、会の趣意に賛同し、その実現のために共に行動をしていただける方で、会費は月1000円です。また、会の活動を支援していただける賛助会員も募集します。会費は年3000円です。是非皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

2008年8月25日

リブ・イン・ピース 9 + 25

(旧アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局)

戦争と女性の人権博物館を建設しよう！謝罪と賠償の法律を成立させよう！

日本軍「慰安婦」問題解決のための講演集会

講師：梁澄子さん(在日の慰安婦裁判を支える会)

～「オレの心は負けてない」上映運動から見えてきたもの～

10月5日(日) 午後1:30～4:30(1時開場)

浪速人権文化センター5階集会室1(JR大阪環状線芦原橋駅下車2分)

主催：リブ・イン・ピース 9 + 25(旧アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局)